



# 山川中学校だより

自律 親和 創造

第3号

令和8年6月19日(金)

文責：谷 陽子

## 〇行事を通して育む、未来を生きる「見えない力」

梅雨に入り、天候不順の日が続いています。先日は、季節外れの台風の影響で、午後から臨時休業とさせていただきました。生徒の安全な下校に際し、ご協力いただきありがとうございました。

さて、この1か月、本校では、生徒たちが主体となる盛りだくさんの行事が行われました。2年生の修学旅行や1・3年生の遠足では、集団行動を通して絆を深め、生徒たちの弾けるような笑顔が見られました。また、部活動では北部Bブロック総合体育大会への壮行式を経て、各部がこれまでの集大成となる本大会へ挑み、仲間と一つの目標に向かって全力を尽くしました。



さらに、心を耕す「人権教育」に関する取組も集中して行われました。3年生は、長年、人権教育の推進に取り組んでこられた乾先生をお招きし、人権講演会を実施しました。講話と音楽を聞かせていただき、同和問題について深く考える機会となりました。また、全校で取り組んだ人権作文では、自らの心や社会の課題と向き合う貴重な学習となりました。人権・広報委員会による人権標語やキャラクターの募集・選出、各クラスの代表者が堂々と想いを述べた人権意見発表会と、それに続く意見交換会など、自分も他者の人権も尊重し、多様な視点から考えを深める姿に生徒たちの精神的な成長を強く感じました。

## ■テストの点数には現れない「非認知能力」の大切さ

こうした日々の委員会活動や部活動、様々な学校行事を通じて、私たちは生徒たちに「非認知能力」を育んでほしいと願っています。非認知能力とは、テストの点数や数値には現れない力のことで、具体的には「目標に向かって粘り強く取り組む力」「感情をコントロールする力」「仲間と協働し、他者を思いやるコミュニケーション能力」などを指します。

これらは、生徒たちが将来社会に出たときに、困難を乗り越え、自分らしく幸せに生きていくために必要とされる大切な能力です。人権作文で悩みながら言葉を紡いだこと、大会で悔しさを共有したこと、委員会の企画をやり遂げたこと—これらすべての経験が、生徒たちの心の中に確かな「非認知能力」の根を張っています。

学校は、教科学習の場であると同時に、こうした社会を生き抜く基盤を創る場でもあります。生徒たちがさらに大きく羽ばたけるよう、教職員一同、今後も丁寧な教育活動を実践してまいります。保護者、地域の皆さまにおかれましては、引き続き温かい見守りとご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校の様子を紹介します。

### 5月19日（火）～5月21日（木） 修学旅行（2年生）

2年生は、沖縄へ修学旅行に行ってきました。戦争の傷跡が残る現地に赴き、戦争のむごさ、平和のありがたさを実感しました。その他にも、沖縄の自然、文化を満喫し、思い出に残る旅となりました。



### 5月26日（金） 遠足（1年生）

1年生は、野島断層保存館と須磨シーワールドに行ってきました。淡路島にある野島断層保存館の見学は、地球のエネルギーのすごさを実感するとともに、防災への意識を新たにする貴重な学びとなりました。シーワールドでは、海の生き物たちのかわいらしさに癒やされ、楽しいひとときを過ごしました。



### 5月26日（金） 遠足（3年生）

3年生は、神戸を訪れ、中学校生活最後となる遠足を存分に楽しむことができました。現地では、グループ活動を中心に、南京町などを巡りながら神戸ならではの異文化や歴史の魅力に誘われつつ、散策を楽しみました。班員と協力し合い行動することで、仲間との絆をより一層深める充実した一日となりました。



### 6月5日（金） 北部Bブロック総体壮行式

壮行式では、音楽部による華やかな生演奏が響く中、それぞれのユニフォームに身を包んだ選手たちが堂々と入場しました。各部からの決意表明では、これまで活動を支えてくれた家族や周囲の方々への感謝の言葉とともに、気合いの入った言葉を伝えてくれました。



### 6月11日（木） 人権意見発表会・意見交換会

会に先立ち、人権標語・キャラクターの表彰式が、人権・広報委員により行われました。意見発表会では、各クラスの代表生徒6名が登壇し、自分の想いを堂々と伝えてくれました。その後に行われた意見交換会では、挙手する生徒が途切れることなく、活発に意見や感想が交わされました。

